

子どもたちはこんなことを学びました!



今回体験したアクティビティ



メビウスの輪

メビウスの輪を使ったアクティビティで、紙をひねって 輪にすることで不思議な体験ができます。メビウスの 輪は通常の輪と異なり、ひと続きの面を持ち、切り方 によって驚くべき結果が生まれます。このアクティビティ を通じて、幾何学の不思議を体験しながら、論理的思 考や創造力を育みましょう。

ぐ? どうしてこうなるの?

紙の帯を1回ひねって作った輪は、ドイツのアウグスト・メビ ウスという数学者が1865年に論文中に記したことから、「メ ビウスの輪」と呼ばれています。

2つに切り離した時の結果に、子どもたちは驚くことでしょう。 では、帯をもっとひねったら?もっと切ったら?「もっと」と いう心が動き出した時こそ、探究心が育つチャンスです。

Ы 実際に社会で使用されているもの

メビウスの輪には、裏表がありません。表だと思う場所をた どるとやがて裏になり、また表に戻ってしまうのです。この 性質を利用すれば帯の裏表両面を有効に使えるということで、 カセットテープやプリンタのインクリボンなどに応用されて いました。リサイクルのシンボルマークのデザインにも使わ れています。

私たちの生活の中にも使用されているデザインがあるかもし れません。

ぜひ、探してみましょう。

【監修協力:横山明日希氏 ※かんたんワクワクおうち STEAM 監修】